

松中の絆

《3月行事》自己を綴り、語り合う人権学習の軌跡

松茂中学校2年 2024年3月1日(金) 第13号

最終学年のスタートラインに向けて

チーム担任制として、すべての学級で同様の道徳学習や人権学習を積み上げていった皆さんは、中学1年から人間として大きく成長したと思います。そんな皆さんも後1ヶ月で中学3年になります。

3年生は、5日、6日の公立高校一般選抜入試を乗り越え、松茂中学校を巣立っていきます。それは1年後の皆さんの姿です。

1年後、皆さんはどんな進路を手に入れるのか。その進路を決定するために、中学3年生は、繰り返し、一人一人の学力を試す様々なテストに取り組みます。そして、その結果から受検する高校や進路を決定するようになります。

2年生の基礎学力テストから高校入試に対する決意を強くし、家庭学習を充実させている人も多いと思います。一人一人が希望の進路に進んでいけるように、まず、残された中学2年生の日々を全力で頑張っていきましょう。

今年度も「中学2年生のスタートラインに立って」をテーマとして、詩「峠」を通して中学1年での生活を振り返り、1年後の自分はどうなっていたいのかを語り合いました。

この学級開きの人権学習から積み上げてきた「語り合いの人権学習」の発言記録は、3月22日(金)の修了式の日発行する文集「松中の絆」に掲載しています。

これまでの「松中の絆」に掲載してきた仲間の生活ノートと共に、仲間の思いや願いから、人としてのよりよい生き方について考え、日々前進していきましょう。

日	曜	3月行事予定
1	金	
4	月	
5	火	①～③卒業式式場準備④1.2年卒業式歌練習 公立高校一般選抜(学力検査)
6	水	④1.2年卒業式練習 公立高校一般選抜(面接)
7	木	②式練習③修了式④学⑤大掃除 ノー部活デー
8	金	第77回卒業式 ①②③卒業式④学活
11	月	B日課 清掃カット
12	火	B日課 新清掃分担開始
13	水	B日課
14	木	B日課 ノー部活デー・清掃カット
15	金	B日課
18	月	B日課
19	火	B日課
20	水	春分の日
21	木	B日課 大掃除(ワックスがけ)
22	金	B日課 ①②修了式・離任式③学 ノー部活デー 春休み 3月23日(土)～4月7日(日)

2023年度 自己をみつめ、語り、仲間とつながる人権学習の軌跡

「中学2年生のスタートラインに立って」～詩「峠」(真壁 仁)に学ぶ学級開きの人権学習～

詩「峠」とは、これまでの自分とこれからの自分の接点。中学1年の生活を振り返り、1年後の自分はどうなっていたいのか。詩「峠」を通して、中学2年生のスタートラインに立った自分に思いを馳せ、自分自身の思いや願い、友達や家族に寄せる思いを語り合う。

2023年4月17日(月) 松茂中学校2年学年集会

中学2年生のスタートラインに立って
～自己を語る誇りとよるこび～

峠

中学1年の自分
今までの自分

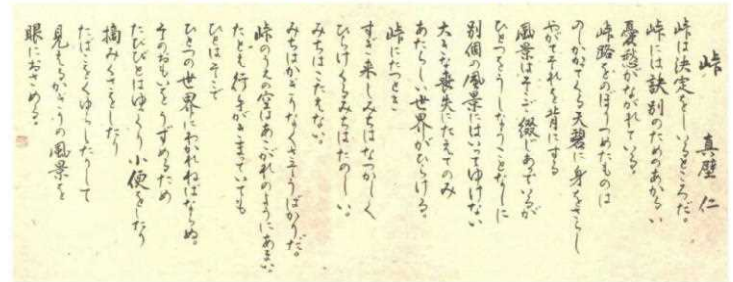
中学2年の自分
これからの自分

「今」「ここ」を
どう生きるのか

「峠」とは、中学1年と中学2年の接点です
中学1年を振り返り、1年後の自分はどうなっていたいのか
自分自身の思いや願い、友達や家族に寄せる思いを語ってみよう

2023年4月17日(月) 松茂中学校2年学年集会

中学2年生のスタートラインに立って
詩「峠」(真壁 仁)から学んだこと



共感と連帯、信頼と尊敬、感謝を合言葉に
決意したこと、仲間や家族に伝えたいこと

映画「くちびるに歌を」に学ぶ人権学習 ～人としての生き方と、感動と喜びの合唱コンクールに向けて思うこと～

全国中学校合唱コンクールの課題曲「手紙」に寄せて、自閉症の兄への思いを綴ったサトルの手紙、様々な困難を乗り越えていく中学生の姿に背中を押され、苦悩を乗り越えていった主人公の生き方や感動の歌声を響かせていった登場人物の姿から学んだことを語り合う。

映画「くちびるに歌を」の学習から学んだこと
～自己をみつめ 語り 仲間とつながる人権学習に～

映画「くちびるに歌を」の学習から考えたこと
15年後の自分へ



共感と連帯 信頼と尊敬 互いの感謝を培う
合唱コンクールでの歌声をつくるために



松茂中で積み上げてきた人権学習を振り返って

1991年度板野中3年B組に学ぶ語り合いの人権学習 ～文部科学省の道徳教育を変えた全道研の語り合いを通して～
 文部科学省の道徳教育においてタブーとされていた部落問題に関する道徳資料が、全国に発信されるきっかけとなった第25回全日本中学校道徳教育研究大会特別公開授業での板野中3年B組の道徳授業から学んだことを語り合う。

1991年度板野中3年B組の全日本中学校道徳教育研究大会特別公開授業における語り合い (会場:富田中学校体育館)



中学校
読み物資料とその利用
—「主として難問や社会とのかかわりに関すること。」—

平成6年3月
文部省

家族の絆をテーマとした
道徳資料「スダチの苗木」

結婚差別をテーマとした
道徳資料「峠」

平成6年(1994年)3月発行

「よりよい生き方を求めて」～川田優也さんと彼の家族の生き方に学ぶ人権学習～
 川田優也さんと彼の家族の生き方について学んだこと、北島中学校の人権学習から学んだこと、卒業生の語りから学んだことから、家族の一員として自分はどう生きていきたいかについて考えたことを語り合う。

川田さんのお母さんやお姉さん 川田さんから学んだこと
 北島中の人権学習・松茂中の卒業生の語りから学んだこと



自分と家族について思うこと
 人権学習は、共感と連帯、信頼と尊敬、互いへの感謝
 「自律」「協働」「エンパワメント」をキーワードとして

優しい兄ちゃんだけど、僕は兄ちゃんが大好きです。じいちゃん、ばあちゃんも、野球の試合などは、とても明るいと思いますが、病気が進行しても一生懸命

私は生まれつきで心臓病を持っていました。この病気は心臓に穴が開いているというもので、

北島中2年
川田優也さんの
生き方に学ぶ
語り合いの人権学習

前に川田さん一家が来てくれた。川田さん一家は一生懸命自分のことを話していたので、私も自分の

今日、坂野君の話を聞いて、僕は不自由がないと

さっさ、坂東さんの話を聞いて、私にも似たような

だから、坂東さんも、とっても大事にされてきたから、

「東京大空襲・戦災資料センターで学んだこと」～語り部・亀谷敏子さんの生き方に学ぶ人権学習～
 東京大空襲において、母と5人のきょうだいを亡くし、その3ヶ月後には、少年飛行兵を志願した兄も空襲で亡くした悲しみと、戦争は最大の人権侵害であることを92年の人生を振り返りながら、強く語っていただいた亀谷敏子さんから学んだことを語り合う。

2023年11月27日(月)「東京大空襲・戦災資料センター」での出会い
 92歳を生きる 亀谷 敏子さんから学んだこと
 ～尊敬と感謝を込めて自分自身の精いっぱい伝えよう～



—3月10日、家族6人を失う
 さらに少年兵の兄まで

東京大空襲・戦災資料センターで学んだこと



語り合いの人権学習はエンパワメント

一人一人が主体的に挙手をし、本心を語り合う人権学習は、互いへの信頼と尊敬が生まれていきます。そして、その語り合いは、発言した仲間だけでなく、発言できなかった仲間にも誇りと自信が生まれていきます。そんな皆さんの成長を実感する生活ノートを紹介いたします。

1月18日(木) 家族に「自慢の娘だ」と言ってもらえるようになりたい

今日、「スダチの苗木」の語り合いがありました。私は、「スダチの苗木」の動画やみんなの発表を聞いて、家族に感謝したり恩返ししないと強くなりました。私は、小さい頃から人見知りでした。たくさん人がいるところに入っていくことも、人と話すことも苦手です。中学校に入ってからは、初めて話す人が増えてとても不安でした。部活もあまり知っている人がいなかったのでも、このまま続けられるかなと思っていました。家族が「自分のペースでいいよ」とか、「時間が経ったら仲良くなれるよ」と言ってくれたので、ゆっくり時間はかかっていますが、仲良くなれているのかなと思います。私は、いつも家族に支えられています。でも、今度は私が家族を支えなければなりません。大人になって、「自慢の娘だ」と言ってもらえるようになりたいです。

1月18日(木) 今日の発表、怖くて震えが止まらなかったけど「良かった」と言ってもらえて安心した

私は、今日「スダチの苗木」の発表で手を挙げて発表することができました。話すことを考えている時、最初は、部活や友だちのことを言おうと思っていただけ、みんながどんどん家族のことを発表して「感謝を伝えたい」と言っていたので、私も家族について話そうと思いました。

手を挙げようと思った時に、先に発表した人が指名をして、その人が発表する雰囲気になって、すごく迷いました。でも、指名された人が手を挙げて、また新しい雰囲気をつくってくれたから、すごいなと思いました。

私は、手を挙げた時、「何で挙げたんだろう」とか、「内容あまり考えれてない」とかで、頭がぐちゃぐちゃになりました。考えていた通りで、前に立ったら考えていたことを忘れて、すごく焦りました。みんなが私のことを真剣な目で見ていて、これは頑張らなダメだと思えました。

マイクを持っている手がすごく震えて、とても怖かったです。声も震えて、一言話す度に次に話すことが飛んで、また考えての繰り返しでした。最初は、みんなの目がこっちを向いていて、ちょっと怖かったので下を見ていたけど、少し上を見た時に、KさんやFさんが笑顔で聞いてくれて、少しだけ緊張がほぐれた気がしました。

マイクを森口先生に返した後、また震えが止まらなくなりました。「みんなどんなことを思っているのかな」とか「変なことを言ったかな」とか、またいろいろ考えてしまいました。でも、森口先生が「いい発表ですよ」と言ってくれた時、「良かったー!!!」と心の中で思っていました。席に戻った時、Kさんが「良かった!」と小さい声で言って、グッドポーズをしてくれて、とても安心しました。2年生の良い思い出になったと思います。

2月1日(木) 今日の語り合い、男子のケンカの後の話を聞いて大切なことを学びました

今日は、「スダチの苗木」の語り合いがありました。自分は発表できず、いつも通り聞いているだけだったけど、聞いてわかったことは、みんな親や友だちに素直になれていないということがわかりました。

2学期にあった男子のケンカの後の話とか聞いて、ケンカしたすぐとか、その日の1日は、やっぱりその人とは話したくないし、気まずいから目も合わせたくないはずなのに、帰りは一緒に帰ったと言っていて、滅茶苦茶すごいなと思いました。自分もすぐに気持ちを伝えられる人になっていけたらいいなと思いました。語り合いの人権学習は、発表できなくてもクラスみんなからとても大切なものを学ぶことができることを今日も実感しました。このことが、先生がいつも話してくれるエンパワメントなんだと思います。

2月1日(木) 語り合いの人権学習、語ることはできなかつたけど他人の話をよく聞くことはできました

今日は、4時間目に2年生最後の語り合いの人権学習をしました。私は手を挙げることができず、語ることはできなかつたけど、他の人の語りをよく聞くことはできました。男子たちが、森口先生みたいに黒板を叩いたり、堂々と話したりして、クラスの雰囲気が温かくなって、語っていた人はすごいなと思いました。語り合えることは、本当にすごいことだと今日も思いました。

2月1日(木) 私を変えてくれた大切な先生との出会いと感謝

私には、私を変えてくれた大切な先生がいます。小学校の時、あの先生に出会えたこと。今思えば、本当に良かったと思っています。低学年の時、私はすごく内気な性格でした。人前で話すのは嫌だし、絶対自分の意見なんて発表しませんでした。けれど、ある先生と出会えたことで、自分の意見をはっきり言えるようになりました。その先生は、いつも誉めてくれて、すごく優しい笑顔をしていました。私は、毎日自主勉ノートで1ページする時間と決めていたので、毎日出していたのですが、必ず、5行以上コメントを書いてくれていました。それが嬉しくて、毎日頑張ろうと思いました。

そして、私はこれを3年間続けました。これが今の私の自信につながっています。もし、あの時、誉めてくれてコメントを毎日書いてくれなかつたら、私は続けられなかつただろうし、もし、先生の出会えていなかつたら、今の私はいなかつたと思います。

そして、先生が担任を終わる時、仲のいい友だちとコメントをもらいに行きました。今でも宝物です。紹介させてください。

「笑顔に勝る化粧なし。ゆりりんさんの笑顔は最高だよ」

この前、お父さんになった先生に2年ぶりくらいに会いました。前よりもっと素敵な笑顔になっていました。「もう、こんな素敵な人とは出会えないだろうなあ」と思いました。私も、いつか誰かのそんな人になりたいです。私が感謝しているのは、この人です。

2月2日(金) 私の犬恩人の先生へ、心からの感謝を伝える語りができ、本当に嬉しかったです

今日、「スダチの苗木」の語り合いがありました。私は、私を変えてくれた先生のことを語りました。本当に優しい先生で、感謝してもし切れなくて、原稿には書いていなかつたけど、本当の自分の思いを伝えたいと思って、先生のことを語ることにしました。

この授業が終わった後に、いつもは授業中に寝てしまっていたり、遅刻が多かったりする、あるクラスの女の子がわざわざ私の所に来て、「さっきのって、〇〇先生だよ」と言ってくれたんです。すごく嬉しかったです。しっかり私の話を聞いてくれていたんだと思いました。どうしても、このことを生活ノートに書き留めておきたいとも思いました。その子も当時先生の担任で、夏休みの課題で、先生がその子のために特別なプリントを渡しているのを見たことがありました。私にとっても、その子にとっても、先生に出会えたことは大きな成長になったと思っています。最後の語り、心からの感謝を伝えることができ、本当に良かったです。

2月2日(金) 語り合いの人権学習、発表できなかつた分、聞き上手になろうと思いました

今日、4時間目に「スダチの苗木」の語り合いの人権学習がありました。私は、この人権学習で家族の大切さに改めて気づきました。私は今まで感謝の言葉を言うのが恥ずかしくて、感謝を伝えることをやめていました。でも、それは逆に恥ずかしいことだと思いました。人は誰でも、感謝されると嬉しくなるはずです。私はそれを知っています。でも、私は両親に何かをしてもらうのは当たり前だと思ってしまっていて、この人権学習をした時に、自分が恥ずかしくなりました。

また、今日クラスの子の発表を聞いた時、大体の子が私と同じ「家族の大切さ」「家族の仕事について」などいろいろなテーマにそって、自分の思いを語ってくれました。私は、特にFさんが一番最初に発表して、何人か発表して、森口先生に指名された時にもすぐに言葉を出し、しっかり発表している姿を見て、本当にすごいなと思いました。

それに対し、私は発表せず、原稿はたったの8行の文章しか書いていませんでした。周りの子は、最後の行までびっしり書いてるので、自分が恥ずかしくなりました。でも私は、最後、森口先生が「聞く人がもっと下を向かず、語っている人の目を見て聞こう」と言っていたので、発表しなかつた分、せめて聞き上手になろうと、最後のKさんの語りをしっかりと聞きました。すると、共感できる話がたくさんあって、気づけば、その語りは7分を超える発表になっていました。本気で聞くことにより、友だちの言葉が心に染み込んでいくことを実感しました。私は、人としてまず、聞き上手になろうと思いました。

2月2日(金) 日々の生活ノートを、今までより本気で真剣に自分と向き合って綴りたい

今日は、4時間目の道徳の時間に、「スダチの苗木」の語り合いがありました。私は緊張して発表することができなかつたけど、みんなの発表を聞くことはできました。みんなの発表を聞いていると、胸が熱くなりました。家族や友だち、親の職業について思うことなどを語っていました。私だったら、自分が辛いと思うことは、絶対に隠し通すと思います。しかし、みんなの発表を聞いていると、本音を語っていて、とても同じ年とは思えないなと思いました。同級生なのに、原稿用紙も見ずに5分ほど語っていて、尊敬できるところばかりだなと思いました。私もいつか、みんなの前で自分の言葉でスラスラと5分ほど語れるように、もっともっと文章力やコミュニケーション力を身につけたいです。そのためにも、日々の生活ノートを今までより本気に、真剣に自分と向き合っていて、自分の思いを綴っていきたくいです。

2月2日(金) 本心を語れる人を手本にして、自分の思いをしっかり語れるようになってみせます

今日、「スダチの苗木」の語り合いがありました。まず森口先生が、どれだけこの授業が大切かを熱心に教えてくれました。そして、僕が一番すごいと思ったのは、F君は自分の家族のことなど、僕なら言いたくないことを堂々と発表していたことです。F君の語る姿に強い思いが伝わってきました。それから、K君やI君へとつながり、とても同じ年とは思えないほどの、思いのこもった語りを届けてくれました。僕は、あまり自分の本心を語ったりすることが得意ではなく、「こうすれば良くなるな」とか、自分の本心ではないことをつけ足してしまうことがあります。そのせいで自分の思いが伝わらないことがあります。

だから、本心を語れる人を手本にして、自分も本心を語れるようにしたいし、自分の本心は自分のことだから、自分の思うことをしっかりと語れるように日々自分を高めていきたいと思えます。

2月2日(金) 自分の発表を前のめりになって聞いてくれるクラスメートの姿に、力をもらって語る事ができました

僕は、今日の4時間目に学活で、「スダチの苗木」を学習して感じたことを語りました。僕は、冬休み前に書いた原稿だったので、何を書いていたか覚えていませんでした。でも、前日に読み返してみて、自分はこんな文を書いていたのかと思いました。そして、発表の時が来ました。僕は、2番目に発表をしました。原稿なしで教卓の前に立ち、頭が真っ白になってしまって、覚えていた内容が少し飛んでしまいましたが、その分、自分の言葉でしっかりと伝えることができ、クラスの全員が、発表している僕の目をしっかり見てくれて、話しを前のめりになって聞いてくれていたので、発表を終えた後、すごく気持ちがよかったです。今日語ったことや、友だちが語っていた内容を自分の糧として、これからの学校生活をより充実したものにしたいです。

2月2日(金) 友だちに、「頑張ったら語れたよ」と報告したい

今日は、「スダチの苗木」の語り合いがありました。私は、自分から手を挙げることはできなかったけど、1回だけ発表できました。普段なら、紙を見て話す感じになっていたけれど、今日は、紙に書いていない、その瞬間に思ったことを語れました。そんな発表ができた自分のことを本当に嬉しく思ったし、他の子がそうしているのを羨ましく思っていたので、自分にもできるとわかって良かったです。また、私の友だちも、普段あまり話さないけれど、どんなことを思いながら生活しているのかなどを知る機会になってよかったです。この前、友だちと「人権学習で意見が言えなかった」と反省し合ったので、月曜日には、その友だちに「頑張ったら語れたよ」と報告したいです。これからも、たくさんの友だちと語り合ったり、お互いのことを尊敬したりして過ごしたいです。

2月2日(金) おばあちゃんが誉めてくれるのが、私にとって一番の幸せです

今日、「スダチの苗木」の語り合いがありました。私も語り合いという気持ちがあったけど、なかなか手を挙げる事ができませんでした。私は、おばあちゃんが大好きです。今は、老人ホームに入っていますが、私が小さい頃、おばあちゃんは、家に帰った時、私の手を引いて一緒にお買い物に行ったり、公園に行って遊んでくれたりしました。お小遣いもたくさんくれたりして、今でも、自慢のおばあちゃんです。おばあちゃんは認知症に罹ってしまっていますが、私の名前を今まで一度も間違えたことはありません。私は、おばあちゃんに「かのんちゃん」と呼ばれるのがすごく嬉しくて、呼ばれる度にニコニコしてしまいます。前に一緒におばあちゃん家に帰って、話している時、おばあちゃんが、「身長高くなったね」とか「可愛いね」と言ってくれました。おばあちゃんが誉めてくれることが、私にとって一番の幸せです。そんなおばあちゃんをこれからも大切にしていきたいです。

2月2日(金) 語り合いの人権学習、毎回発表している同級生をととても尊敬します

今日は、4時間目に道徳があり、「スダチの苗木」の語り合いでした。私は手を挙げて発表できませんでした。でも、今回の「スダチの苗木」で発表をした人たちの内容は、同じ学年の子かと思う内容で、特に、Fさんの内容が一番印象に残ったし、共感できる場所が多かったです。あとちょっとの所で勇気が全く出なくて、手を挙げられませんでした。なので、毎回発表しているIさんや、Yさん、Fさん、Kさん、Yさんたちをととても尊敬します。

2月2日(金) 周りの人にたくさん感謝できる人間になっていきたいと思いました

今日、「スダチの苗木」の語り合いの人権学習がありました。みんなが発表しているのを見て、いつ自分の番が来るのかと、ドキドキしながら待っていました。みんなの前に立った時には、頭が真っ白になって、整理していた内容もすべて抜けてしまいました。自分の思いをはっきりと語ることができなかつたです。みんな、自分のことを堂々と語っているだけでなく、時間も長くて内容も濃かったのでも、とてもすごいと思いました。私は、詰まってしまうし、すぐ終わらせてしまったので、みんなとは程遠いです。少しでもそういう人になるために、まずは、周りの人にたくさん感謝できるようにしたいです。何かの授業で、「1日100回くらいありがとうと言うと良い」と学びました。それを実践してみようと思えます。

※思いや願いが溢れる充実した生活ノートは、揺れながらも自己実現をめざしてひたむきに生きた証です。これからも、生活ノートを通して自分と向き合い、「昨日の自分より今日の自分が好き」と言える学校生活を創造していきましょう。中学2年生の生活ノートは、皆さんが中学2年を全力で生きた記録です。2024年3月31日まで、中学2年としての生活ノートを書き続けてみましょう。

2年A組 クラスが好きになる三原則

- ① 期限を守って提出できるクラス
- ② アツと笑いが多いクラス
- ③ 個性を発揮できるクラス

2年B組 クラスが好きになる三原則

- ① 授業の挨拶を大きな声で言えるクラス
- ② 「言葉」を一つ一つ受け止めて
互いが優しく接し合えるクラス
- ③ クラスの目標を持ち
それに向かって頑張っていけるクラス

2年C組 クラスが好きになる三原則

- ① みんなでコミュニケーションが
取り合える明るいクラス
- ② みんなに感謝できる温かいクラス
- ③ 自分の本音を本気で言えるクラス

2年D組 クラスが好きになる三原則

- ① 授業中の雰囲気の良いクラス
- ② ムードメーカーがいるクラス
- ③ 男女の仲が良く
お互いに協力し合えるクラス

上記のスライドは、人権いじめ防止委員会の仲間が、1年間の人権学習を振り返り、よりよい3年生のクラスづくりのために考えてくれた「クラスが好きになる三原則」です。仲間の思いを受け止め、中学2年の日々をより充実したものにし、中学3年の学級開きにつなげていきましょう。